



令和4年5月11日
海上保安庁

日米コーストガード間の付属文書署名式を開催します！！

～FOIPの実現に向けた日米共同取組「SAPPHIRE（サファイア）」を推進～

海上保安庁海上保安監及び米国沿岸警備隊太平洋方面司令官は、令和4年5月18日(水)、新たな文書の署名式を行います。これにより、日米共同の取組には「SAPPHIRE（サファイア）」の呼称が与えられ、共同オペレーション、合同訓練、職員交流における日米海上保安機関の連携が一層推進されます。

1. 経緯と日米共同取組「SAPPHIRE（サファイア）」

日米の海上保安機関である海上保安庁及び米国沿岸警備隊は、1948年の海上保安庁創設期より深く交流しておりましたが、2010年に協力覚書（MOC）を締結して以降、さらに人的交流や情報交換等に関する協力を推進させてきました。

今般、海上保安庁と米国沿岸警備隊は、相互の連携・協力を通じ、「自由で開かれたインド太平洋」を実現していくため、2010年の協力覚書の付属文書を作成し、共同オペレーション、合同訓練、職員交流、学術交流、研修、能力向上及び情報共有の促進等を推進します。

あわせて、日米海上保安機関の共同の取組に「SAPPHIRE（サファイア）」の呼称を与えます。

詳細については、18日の署名式後で説明する予定です。

※SAPPHIRE

(Solid Alliance for Peace and Prosperity with Humanity and Integrity on the Rule-of-law based Engagement)

「法の支配の取組における誠実と仁愛に基づいた平和と繁栄のための強固な連携」

2. 署名式

(1) 日時

令和4年5月18日 10時50分から11時5分まで

(2) 場所

2号館12階 国際会議室

(3) 出席者

海上保安庁 瀬口海上保安監

米国沿岸警備隊 マカリストー中将（米国沿岸警備隊太平洋方面司令官）

(4) 内容

2010年の協力文書（MOC）の付属文書の署名

3. 米国沿岸警備隊太平洋方面司令官による海上保安業務視察

(1) 日時

令和4年5月18日 14時10分から17時20分まで

(2) 場所

横浜海上防災基地

(3) 訓練内容

特殊救難隊及び機動防除隊による展示訓練等